

所有者不明土地問題研究会 最終報告（平成29年12月予定）

（副題案：～所有者不明土地の実態とその問題、今後の対応のあり方
大量相続時代を前に今考えておくべきこと～）

構成案

1. 「所有者不明土地問題」について

- （1）はじめに
- （2）所有者不明土地問題研究会の設置、開催経緯等
- （3）本研究会で対象とする「所有者不明土地」
- （4）「所有者不明土地」の具体的な支障事例

2. 「所有者不明土地」の量的把握

- （1）サンプル調査等による実態把握
- （2）実態調査を活用した全体推計
- （3）所有者不明土地の面積の将来推計

3. 「所有者不明土地」の経済的損失の試算

- （1）経済的損失として考えられる事項の整理
- （2）単年の経済的損失
- （3）2017年～2040年の経済的損失の累積値の試算

4. 今後必要となる施策に関する提言

（参考）

検討体制

検討経緯

注：下線付の項目は最終報告で新たに加わる箇所

所有者不明土地問題研究会 中間整理 (平成29年6月)

～所有者不明土地はどれだけ存在し、何が問題なのか
議論の前提となる実態把握からのアプローチ～

目次構成

1. 「所有者不明土地問題」について
 - (1) はじめに
 - (2) 所有者不明土地問題研究会の設置、開催経緯等
 - (3) 本研究会で対象とする「所有者不明土地」
2. 「所有者不明土地」の具体的な支障事例
3. 「所有者不明土地」の量的把握
 - (1) サンプル調査等による実態把握
 - (2) 実態調査を活用した全体推計
4. 制度や仕組みの課題
5. 今後必要な検討～提言に向けて～

(参考)

検討体制

検討経緯